

第6回

全国学生夢応援企画

Campus Life+1 ファイナルコンテスト

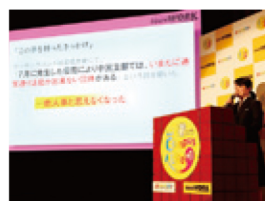
sponsored by タウンワーク

全国の大学・短大・専門学校・高校に通う学生の皆さんから、夢を募集してきた「Campus Life+1」。本選では、前回より約1万4千通も多い、約4万1000通の中から選ばれた5人のファイナリストが思い思いの方法で夢を披露しました。

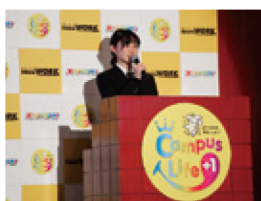
結果発表!

夢を叶えて成長したい 5人の熱い思いが会場を包んだ

2019年3月10日(日)、今回で6回目となった「Campus Life+1」ファイナルコンテストが開催された。まず行われたのは高校生部門特別賞のプレゼンテーション。岐阜県立岐阜商業高等学校に通う高橋梨紗さんと、鈴鹿工業高等専門学校に通う萩原珠さんが、初々しくも懸命に自分の夢を発表してくれた。その後、ファイナリスト5人が様々なプレゼンテーションを披露。「舞台をはじめ夢を追い続ける人を支える仕組みをつくりたい!」「スポーツアナリストになって母校を花園へ連れていきたい!」など、5人の熱い想いが会場はひきこまれた。また、今年はゲスト審査員にお笑い芸人のおかずクラブの2人が参加。会場を大いに盛り上げた。



自身の活動について発表する
岐阜県立岐阜商業高等学校の高橋さん



鈴鹿工業高等専門学校の萩原さんは
幼い頃から陸上に励んできたという



熱のこもったプレゼンテーションに
審査員の方々も真剣に質問をしていた



トークショーではおかずクラブのお二人の
バイト体験の話で盛り上がった



グランプリに輝いたのは…

発達障害を持つ子どもたちの勉強を支えたい

北海道大学 / 村上 武志さん



一見、どこにでもいる若者のように思われるかもしれませんが、私はある症状のために幼い頃から周りの友人と同じように過ごすことができませんでした。その症状の名は「ADHD(注意欠陥・多動性障害)」。小学校・中学校では、授業中に先生の言葉を頭に留めておくことができず、中高一貫の学校に通っていたものの高校進学が危ぶまれる状況に。そんな私を救ってくれたのが、当時通っていた塾の先生でした。その先生は私のために、イラストをつくり勉強を教えてくれたのです。結果、成績が向上し無事高校に進学。さらに大学にも通うようになりました。この経験を活かし、発達障害に悩む子どもたちの勉強を支えたいと思います。

ファイナリストたちによる個性豊かな
プレゼンテーションが発表されました!



津軽三味線の魅力を
世界の人々に伝えたい



持続可能な舞台作りのスタイルを確立し、
夢を追い続けられる社会を作る



デフリンピックでメダルを目指す
デフアスリートを支えたい!



スポーツアナリストになり、
母校を花園へ!